

# 教育フォーラム開催

## PTAと教育委員会の初の協働事業

10月30日(金)市川市文化会館小ホールにおいて、PTAと教育委員会の初の協働事業「教育フォーラム」をコーディネートに市川市教育長田中庸恵氏、パネラーに昭和学院短期大学教授松田素行氏、前市川市教育長西垣惇吉氏、市川市教育委員五十嵐美奈子氏、市川市生涯学習部長田口修氏、市川市PTA連絡協議会会長齋藤匠氏、北方小学校PTA会長ハリス貴子氏、中国分小学校PTA会長長澤田剛一氏によるパネルディスカッション形式により開催いたしました。

会場には、市内の各PTAから200名の方々に集まり頂きました。初めの挨拶では、齋藤会長よりこの教育フォーラムを開催するに至った経緯の説明があり、これを1回限りではなく、教育委員会とPTAがお互いによりパートナーとして新しいスタートとなるようにしたいと

熱く語りかけました。パネリストディスカッションの冒頭部分では、田中教育長より教育委員会の役割およびPTA連絡協議会の役割などの説明があり、初めてこういう場に参加する人に対する配慮も見られました。今回はそれぞれ違った立場の方々がパネラーとして7名お呼びし、それぞれの立場からの意見を聞きながら田中教育長がそれをまとめていくといった形で、会場に参加していたPTA会員の皆様にも市川市がこれまで取組んできたことやこれからの方針が理解頂けたのではないでしようか。

ディスカッションでは、それぞれの立場が考える「学力」とは何か、そして学力を向上するためにはどうすれば良いか、の意見交換が行われました。

主な意見としては、「社会に出て生きる力」、「見える学力と見えない

学力がある、「学ぶ力、学んだ力、学ぼうとする力、学びを生かす力」などがありました。また、「子どもに何の力を付けさせるべきなのか?」の問いかけには、「夢、努力、人との関わり、楽しさを発見する力、生き生きと生きる力」などの意見が出されました。そして何人かのパネラーから出た問題提起として、「子どもの学力向上と同じく親の教育力向上が重要」との意見が出され、現在の子どもの学力が抱える問題には、大きく親の教育力が関わっていることが、改めて浮き彫りとなりました。

7月3日(金)に生涯学習センターグリーンスタジオにおいて、「親から子へつなぐ」と題して、食育アドバイザーの浮谷王子(つきやきみこ)氏による講演を開催いたしました。

浮谷先生は、親と子の心も身体も育む「食育」の大切さから始まり、親が食を選ぶ食育力がとても大事なことだと、分かりやすく説明してくださいました。

親の食育力向上が、子どもの生活習慣の低年齢化の歯止めにつながるという話がとても印象的でした。

最後に、「子ども達は、お母さんが丹精込めて作った料理は、大人になつたときに必ず思い出して懐かしがってくれます。ですからたとえ残しても怒らずに少しでも食べたら褒めてあげてください」と言った話を聞いて、改めて子ども達の食生活の大事さを出席者全員が学んだオリエンテーションとなりました。

稲荷木小学校の通学区域である「稲荷木小学校周辺地区」は、京葉道路開通により南北が分断され、さらには外環道路により東西も分断され、「田」の字形に地区が分割される地域です。また道路用地買収により空地が点在し都市部の「過疎」状態となっている地区です。市川市では稲荷木地区を安心安全なまちにするため防犯まちづくりモデル地区に選定し、地区内の自治会・商店会・小学校・幼稚園とそのPTA・市川警察署・市川市職員・専門家による「防犯まちづくり委員会」を組織し、約1年間の調査・検討を行いました。

稲荷木小学校地区防犯まちづくり計画を作成しました。

## 第53回PTA研究大会



9月12日(土)生涯学習センターグリーンスタジオ他9会場において、第53回市川市PTA研究大会を開催いたしました。

今年度のテーマ「やめちゃう? PTA/PTAのあるべき姿を考える」という、ちょっと過激なネガティブな問いがブレイクな議論でも、そこは「楽しくなくちゃPTAじゃない!」と言い切る今年度の市川市PTA本部。日頃PTA活動をしていく中で感じる疑問や悩みを、あくまでも前向き＆ポジティブに「本音」で語り合い改善していこうという意気込みから生まれたテーマだったのです。

研究テーマから、3つの現状と課題について9分科会に分かれて討議いたしました。

分科会終了後、グリーンホールにて各分科会で討議された内容について各役員から報告がありました。

最後に来賓を代表して田中教育長より、今回の研究大会の講評として「このような協議会では理念的な議論になつてしまいがちなところがあるが、この研究大会では実践的な話し合いが行われ大変良かった。来年の日PTA全国大会への良い布石になったと思う。」との評価を頂き、閉会しました。

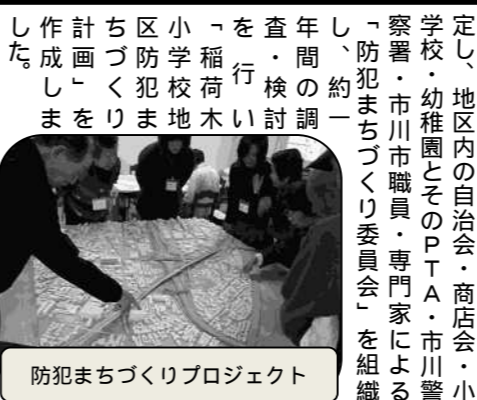
## 第1回オリエンテーション

7月3日(金)に生涯学習センターグリーンスタジオにおいて、「親から子へつなぐ」と題して、食育アドバイザーの浮谷王子(つきやきみこ)氏による講演を開催いたしました。

浮谷先生は、親と子の心も身体も育む「食育」の大切さから始まり、親が食を選ぶ食育力がとても大事なことだと、分かりやすく説明してくださいました。

親の食育力向上が、子どもの生活習慣の低年齢化の歯止めにつながるという話がとても印象的でした。

最後に、「子ども達は、お母さんが丹精込めて作った料理は、大人になつたときに必ず思い出して懐かしがってくれます。ですからたとえ残しても怒らずに少しでも食べたら褒めてあげてください」と言った話を聞いて、改めて子ども達の食生活の大事さを出席者全員が学んだオリエンテーションとなりました。



防犯まちづくりプロジェクト

## 立ち上がろう、おやじ達

### おやじフェスタ開催



11月14日(土)市川市役所第5委員会室において、市川市PTAとして初めての「おやじフェスタ」を開催いたしました。

このおやじフェスタは、齋藤会長からの提案により各単Pでのおやじの関わりを多くすることは、学校や地域の活性化に繋がるのではないかと考えから、おやじ達に立ち上がっていただくきっかけ作りとして今回開催することになりました。

第1回目としては、新浜小学校おやじの会と第2中学校おやじの会から活動事例発表をして頂きました。新浜小学校のおやじの会からは、「みんなが楽しいおやじの会」活用法」というテーマでお話し頂きました。平成14年に会員10名で発足した経緯から、平成17年から個々のおやじが得意とする分野について出来る事出来るだけの活動



事例発表を聞く参加者

としたことから会の活動範囲が広がり、今年度の会員数は55名にもなつていす。新浜小のおやじの会は原則として自由参加であり、無理な要請はないことだそう。これが、活性化の秘密かもしれません。

第2中学校のおやじの会からは、「素直に楽しみたい」として活動したいというテーマでお話し頂きました。

今年度16年目となる2中のおやじの会は、平成6年当時のPTA会長が子どもと父親が話をしない、運動会など学校やPTAの配布するお知らせが父親まで渡らない、父親と学校の先生の会う機会がほとんどない、などの問題意識から「もつと学校にお父さんを」と呼びかけ会を発足したそうです。

今では、ほとんどの活動の後は懇親会が開かれ、おやじ達の交流が図られているそうです。

2校のおやじ達の発表はとも熱く語られ予定時間をオーバーしての事例発表でした。

## 日本PTA表彰

11月18日(水)にホテルニューオクタ二鶴の間において平成21年度表彰式が盛大に執り行われ、文部科学大臣表彰と日本PTA全国協議会会長表彰の授与式がありました。

市川市からは、大和田小学校PTA様が日本PTA全国協議会会長団体表彰を、大和田小学校PTA会



日本PTA表彰式 大和田小会長・齋藤P連会長

## 日本PTA・県PTA主催事業参加報告

### 日本PTA全国研究大会

#### みやぎ大会報告

8月21日(金)・22日(土)の二日間に渡り宮城県内において第57回日本PTA全国研究大会みやぎ大会が行われ、来年度の市川市で開催する第1分科会の参考とするため、市川市からは8名が参加し、第1分科会を担当した登米市の実行委員長より準備から当日までについて詳しくお話しを伺ってきました。

第1分科会では、プロ野球の楽天イーグルスのゼネラルマネージャーであるマーティ・キーナート氏による「組織運営」の基調講演が有意義なものでした。

全体会は、セキスイハイムスーパーアリーナにて行われ、記念講演として脳トレで有名な東北大学の川島隆太教授から「脳科学から見た 早寝・早起き・朝ごはんの大切さ」についての講演があり、最後に「朝食を食べないと馬鹿になる」を全国に広めてほしいと訴えられました。

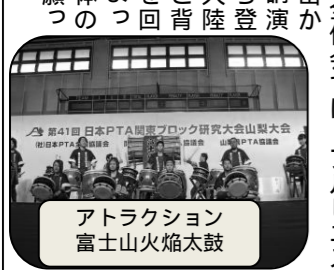


みやぎ大会参加者

### 日本PTA関東ブロック研究大会

#### 山梨大会報告

10月16日(金)・17日(土)の二日間に渡り山梨県内において第41回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会が行われ、市川市としては、第1分科会「組織・運営」を受持つ山梨県南都留郡忍野村に3名で参加してきました。今回は3組の事例発表があり、発表後の質疑応答では積極的に齋藤会長が質問を行い、発表者が回答に困ると会場にきている仲間が助け舟を出して、会場全体で盛り上げた分科会となりました。全体会では、アルピニストの野口健さんによる「富士山から日本を変える」と題した講演で、「自身の学生時代の話から登山に興味をもった経緯や、7大陸の最高峰を制覇するまでの死と背中合わせだった苦労話やゴミを回収する活動が日本全国に広まって、富士山だけでなく日本全体の意識が変わってくることを願っている」と話されました。



アトラクション 富士山火焔太鼓

### 千葉県PTA研究大会

#### 香取大会報告

10月24日(土)に香取市佐原文化会館香取市民体育館香取市佐原中央公民館において、第57回千葉県PTA研究大会香取大会が行われ、市川市からは提案者(南行徳小学校栄養士大河原副主幹及び司会者として2名、参加者5名の計8名が参加して頂きました。

全体会での記念講演では、「伝統文化と心の教育」を育てる礼の心」と題して、弓馬術礼法小笠原流三十一世宗家の小笠原清忠氏から礼法という観点での教育についてのお話を伺い、お辞儀や挨拶など一つ一つの動作には意味があり、我々は日常の生活の中でそれを省略してきているということがよく分かりました。

全体会後の分科会では、第1分科会「組織運営」と提案者として参加する第5分科会「健康と安全教育」に分かれて、参加しました。第1分科会では、PTAの活動形態は地域により異なり地域に合った取り組みが成されている事を再認識し、第5分科会では南行徳小学校の栄養士の大河原先生による「学校・家庭・地域が連携した食育推進運動」と題した発表で、先生が日頃から取り組んでいる食育に関するものを市川市および南行徳小学校としてまとめたものでした。

助言者からは自校給食のメリットをフルに活用した試みであり、とても素晴らしい活動をしているという言葉がありました。



香取大会式典